

# 大規模災害において真っ先に困ることそれはトイレです 災害時に有効な貯留型の紙製トイレについて

団地再生テクニカル講座（第20回）2026年4月7日開催



近年、一時避難を伴うような大規模災害が増えています。また、とどまるマンションのように公助から自助・共助への備えも重要になっています。団地やマンションでの避難生活で真っ先に困ることが、トイレです。排水インフラの健全性が確認できなければ建物のトイレやマンホールトイレも使用できません。固める携帯トイレの保管にも限度があります。

第1部の講演では、被災地でのトイレ状況の実態と管理組合や、自治会等で保管しておき、いざという時に素早く組み立てられる、貯留型ほぼ紙トイレについてお話を伺います。

第2部では、広場において実際に組み立てし、その簡便さとしやすさの体験をしていただきます。

一般社団法人 団地再生支援協会  
会長 松村 秀一  
技術普及部会長 花牟禮 幸隆

日時 2026年 4月7日(火)

13:15 受付開始  
13:25 挨拶  
13:30~14:40 講演  
14:40~15:55 質疑応答  
15:55~16:05 休憩・広場移動  
16:05~17:15 組み立て実演  
17:15~17:30 質疑応答

参加費 一般 2,500円 会員 1,500円  
懇親会 3,500円(参加者)

定員 30名 (申込み期限 3月27日)

会場 ちよだプラットフォームスクエア R001 (地下1階)  
東京都千代田区神田錦町3-21 ちよだプラットフォームスクエア  
Tel 03-3233-1511



## 第1部講演 大規模災害におけるトイレ事情

13:30~14:40

1. 災害時のトイレの実態
2. 災害時の役割 ~行政・事業者・個人~
3. 災害被害想定と対策
4. 災害トイレの基本知識
5. ほぼ紙トイレの製品紹介

講師 小野 奈々子 氏



株式会社スマイル・ブラザーズ・ジャパン  
ほぼ紙トイレ事業部 担当部長  
特定非営利活動法人 日本トイレ研究所会員

「ほぼ紙トイレ」の開発をきっかけに災害時のトイレ問題に取り組んでいる。

「災害用トイレ備蓄の重要性」をテーマに災害時の現状や対策について具体的に解説する講習会は、受講者アンケートで高い満足度の評価を得ている。

## 第2部 実演 ほぼ紙トイレの組み立て体験

16:05~17:15

おおよそ20分で組み立てられる「ほぼ紙トイレ」  
実際に組み立てると、その広いトイレ内の使用環境  
を体験していただきます。

備蓄型・組立式・個室トイレ

# ほぼ紙トイレ®



1. 上下水インフラ設備不要
2. 軽量、工具不要、約20分で組立可能
3. 約1,600回(成人約50人1週間)使用可能
4. バクテリア製剤投入で菌の繁殖と臭いを軽減
5. 全焼却処分可能で二次感染防止(LED照明・電池・フック除く)
6. 耐水・耐風加工で屋外設置可能
7. 床耐荷重200kgで介添者も共に入れる
8. 鍵付き内開きドア、LED照明で防犯対策
9. タンク底面に運搬機材(ハンドリフト等)用溝有り
10. 保管時はタンクとボックス別々に収納可能



## 申込先 一般社団法人 団地再生支援協会

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-21ちよだプラットフォームスクエア 2F CN-205

電話 03-5259-8402

FAX 03-6866-8925

Email info@danchisaisei.org

HP https://www.danchisaisei.org/

HPより申込用紙ダウンロードの上、メール又はFAXにてお申込みください